

## 政策評価調書(29年度実績)

政策名	変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	- 1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------------	-------	-----	-------	-------

### 【 . 政策の概要】

農林水産業の成長産業化に向け、規模拡大や協業化による先駆的な経営体の育成、就農学校の整備などによる新たな担い手の確保・育成、戦略的な輸出の拡大、食品産業と連携した加工・業務向けの産地づくりなどにより構造改革をさらに進め、生産者の挑戦と努力が報われる農林水産業を実現する。

### 【 . 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	達成	A
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	達成	A
3	経営マインドを持った力強い担い手の確保・育成	達成	A
4	元気で豊かな農山漁村の継承	達成	A

### 【 . 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

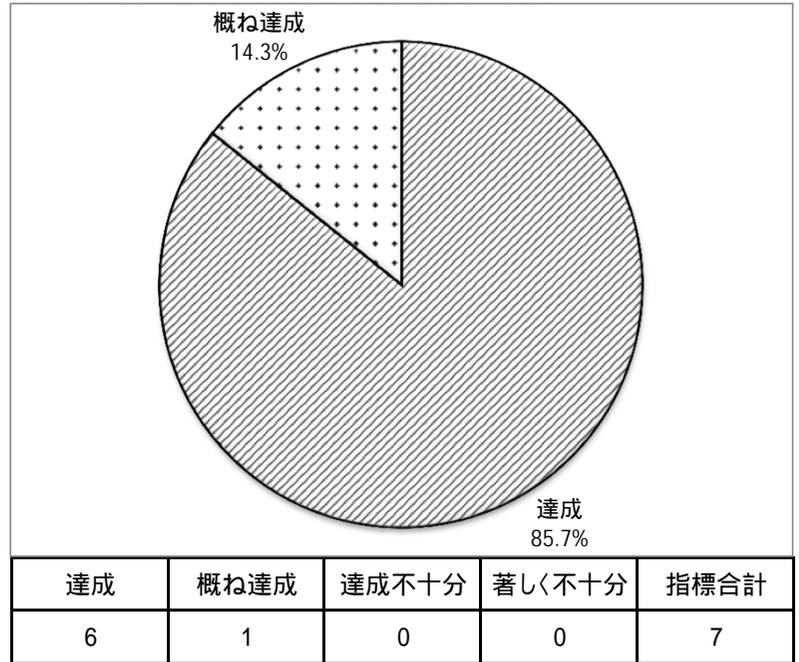
本格的な人口減少社会の到来による国内市場の縮小やTPPをはじめとする経済連携の動きの活発化、ライフスタイルなどの変化を反映した外食の利用拡大など、農林水産業は先例のない社会構造の変化に直面し、大きな変革期を迎えている。この機を本県農林水産業のさらなる振興に向けたチャンスと捉え、マーケットインの商品(もの)づくりを基本に、農林水産業による創出額目標2,500億円(H35)を目標として、もうかる農林水産業、付加価値を高める農林水産業を展開していく。

農業では、H30年から国による米の生産調整が廃止される中、米生産の効率化・高品質化、水稲から高収益な園芸品目等への転換を進める。また、戦略品目を中心に、農業団体と連携しながら県域生産・県域出荷体制を確立し、拠点市場でのシェア獲得に向けて取り組む。林業では戦後の拡大造林の時期に植栽された立木が伐期を迎えていることから、これまでの間伐中心の施業から主伐・再造林への転換を図る。水産業では国内外における養殖ブリ類のニーズ拡大に対応できるよう、生産加工体制の整備を急ぐ。

こうした取組を支える担い手の確保・育成に向けては、就農学校やファーマーズスクール、おおいた林業アカデミー、漁業学校での新規就業者の研修、各種給付金の活用はもとより、作業の省力化・外部化のための機械導入や共同調製施設等の整備、最先端のICT等を活用したスマート農林水産業を推進する。

また、農林水産業は農山漁村の有する多面的機能の維持・保全の観点からも重要であることから、中山間地域での生産活動の活性化や鳥獣害対策などに引き続き取り組む。

### 【 . 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【 . 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	-